

令和 7 年第 3 回 鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和 7 年 6 月定例会

日程第 1	会議録署名議員の指名	
日程第 2	会期の決定	
日程第 3	諸般の報告	
日程第 4	一般質問〔6 名〕	
	①	中 村 基 議員
	②	竹 田 和 明 議員
	③	篠 宮 真 樹 議員
	④	東 愛 乃 議員
	⑤	鈴 木 辰 也 議員
	⑥	笹 生 あすか 議員
日程第 5	議案第 1 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について
日程第 6	議案第 2 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の 制定について
日程第 7	議案第 3 号	南房総広域水道企業団の解散に関する協議について
日程第 8	議案第 4 号	南房総広域水道企業団の解散に伴う財産処分に関する協 議について
日程第 9	議案第 5 号	南房総広域水道企業団の解散に伴う事務の承継並びに決 算の審査及び認定の方法に関する協議について
日程第 10	議案第 6 号	令和 7 年度鋸南町一般会計補正予算（第 1 号）について
日程第 11	議案第 7 号	令和 7 年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算（第 1 号） について
日程第 12	報告第 1 号	令和 6 年度鋸南町一般会計予算繰越明許費繰越計算書に ついて

令和 7 年 第 3 回 鋸 南 町 議 会 定 例 会 会 期 日 程 表 （ 案 ）

自 6 月 1 0 日（火） 至 6 月 1 1 日（水）

会 期	月 日	曜 日	時 間	説 明
第 1 日	6 月 1 0 日	火	午前10時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、一般質問（4名） 散 会
第 2 日	6 月 1 1 日	水	午前10時	開 議 一般質問（2名） 議案第1号から議案第7号の上程、説明、質疑、討論、採決 報告第1号の説明 閉 会

一 般 質 問 一 覧 表

令和 7 年第 3 回 鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	1. 鋸南町公共交通について 高齢化が進む中、免許返納、隣近所の減少、家族の町外別居等で、高齢者の日常外出手段は急速に失われつつある。 当町では、オンデマンド制を実験導入して、交通弱者の移動手段確保を 1 年間試みたが、利用人数及び収支が目標に達せず中止し、代替手段のないまま、実験前の状態に戻ってしまった。 そこでより広範な関係者が参画した法定協議会を立ち上げて、既存の地域公共交通会議を組込み、国の制度に準拠した地域公共交通計画を立案する事となった。 その立案に当たっては、鋸南町の実態に合った交通手段やネットワーク、即ち高齢者や障害を有する方が使い易く、且つ安価な方法を、既存の交通手段の見直しや、オンデマンドの反省を踏まえて導入する必要があると考える。 一方、同時進行で、町民の生活の質の向上を図るために、今直ぐやれることと、時間をかけて検討実現していくことに分けて進めていく必要があると考える。 以上の 2 点について、行政の見解と今後の進め方をお伺いする。 2. 河川の維持管理について 昨年 6 月 28 日の集中豪雨で佐久間川 6 か所が氾濫し、4 世帯に危険が及び多くの田畑が被害を受けた。 昨年 9 月と 12 月定例議会の一般質問で 4 つの改善提案を行い、町長、建設水道課長が直接安房土木事務所へ働きかけして頂いた結果、先ず最も危険度の高い中佐久間地区赤伏橋付近の河川	中村 基	町 長

	を覆う竹雑木の伐採が行われ、水位計の設置も約束頂いた。 続けて本年４月１０日、私は地元責任者２名及び建設水道課長と、安房土木事務所に今後の進め方を確認した結果、河川に沿って竹の伐採及び浚渫を計画的に行う予定だが、実際にやってみて竹の事後処分に苦しんでおり、県のみ任せではなく町も何らかの後押しが必要であると感じた。 同時に今最も大事なことは、行政だけに任せるのではなく、住民による日常管理を、この先如何に維持するかだ。 そこで、例年１２月第一日曜日に行なっていた「河川一斉清掃」を再開し、常に一定の状態に維持すべきと考えるが、地区により中断した共同作業の再開は、行政による住民への丁寧な説明と十分な準備が不可欠と考える。 以上２点について行政の見解と今後の進め方をお伺いする。		
2	１．学校給食について 日本農業新聞の学校給食会への調査によると、今年４月以降の学校給食用米価は昨年同期比で２倍とのことであり、学校給食の在り方にも大きな影響が及んでいると考えられる。 そこで以下質問する。 ① 食材費に占めるコメの購入費の割合はどうか。 ② 食材費予算が不足しているのではないか。その手当をどう考えているか。 ③ いすみ市では学校給食での使用を前提とした有機米の産地化を実現し、いすみモデルとして大きな成果を上げている。いすみモデルを手本として当町での展開を図れないか。実現できないとすればその理由は何か。	竹 田 和 明	町 長

	2. 人口減少にともなう施設の効率的な活用について 財政悪化と人口減少が著しい当町においては、公共施設の効率的な活用は大きな課題だ。 そこで、以下質問する。 ① 公共施設の効率的活用についての考え方、取り組み事例、今後の計画は。 ② 給食センター建設当時と比べ、生徒数は相当減少している。 給食センターにある「調理設備」「調理員」「配送車両」「調理実習室」「研修室」などの資源の用途転用、多用途化の可能性について検討はされているか。 ③ 小中学校の校舎は建物自体として余剰、非効率が生じていると思われるが、その実態はどうか。また今後の活用は。 ④ 道の駅保田小学校の高速バス待合所について、高速バス事業者との交渉はどうなっているのか。 ⑤ 道の駅保田小学校音楽室、家庭科室の活用法についての計画は。 ⑥ B B Qハウス佐久間小学校の活用法についての計画は。		町 長
3	1. 鋸南町の観光資源の活用について 鋸南町には沢山の観光客が訪れる鋸山や、穏やかで天気の良い日には富士山や夕陽が綺麗に見える海岸、また佐久間ダムを始め桜や水仙が咲く里山の風景など自然を生かした観光資源が有ると思います。 中でも鋸南町を代表した観光スポットと言えば鋸山です。鋸山の更なる知名度向上には日本遺産登録が必要だと考えるが、残念ながら昨年は日本遺産には選ばれませんでした。 観光客の増加には鋸南町の観光資源を生かす事が重要だと考えます。	篠 宮 真 樹	町 長

	そこで鋸南町の観光資源の活用施策について質問します。 ① 昨年、鋸山が日本遺産に選ばれなかった原因は何処にあると考えているのか。又現在日本遺産登録に向け、どのような取り組みを行っているのか。 ② 鋸南町の海岸は穏やかで特に夕陽が綺麗に見える絶景スポットだと思うのですが、海岸を活かした観光施策の考えは有るか。		
4	1. 生理の貧困と物価高騰への支援策について 昨今の物価高騰により、日用品や食料品の価格が大幅に上昇しており、特に生活に困窮する方々にとっては、日々の生活のやりくりがさらに厳しさを増します。そうした中、「生理用品にかけるお金がない」「生理用品を長時間使い回す」といった生理の貧困の実態が各地で明らかになってきました。 一般的に女性が月に生理用品にかける費用は600円から1500円程度とされています。物価高騰の中、こうした日用品の費用すら削らなければならない家庭や若年層が存在しています。本町として、生理の貧困に苦しむ方への実効的な支援が必要ではないでしょうか。そこで以下について質問いたします。 ① 生理の貧困に関する実態を把握するため学校等でアンケート調査やヒアリングの実施はしているか。 ② 学校や公共施設における生理用品の無償提供体制の現状と今後の拡充予定はあるか。 ③ 経済的支援の可能性について 加古川市のような電子クーポン制度など、民間と連携した生理用品の支援導入について、本町としてはどのように考えているか。	東 愛乃	町 長

	2. 貸し別荘等における騒音被害対策について 町内において近年、貸別荘や民泊等の施設が増加する中、観光客の利用による深夜の騒音や迷惑行為に対する苦情が住民の間で発生しています。 こうした事態は、町民の生活環境や安全・安心を脅かす要因となり得るため、町として何らかの対応や仕組みづくりが必要ではないかと考え、以下の点について質問いたします。 ① 貸別荘、民泊等に起因する騒音被害について、町として現状をどのように把握しているのか。 ② 現在、町には苦情の受付体制や通報窓口はあるのか。また、どのように対応しているか。 ③ 町として、住宅宿泊事業法・旅館業法等に基づく施設に対して、騒音等の迷惑行為防止について、具体的な指導・勧告を行っている実績はあるか。		町 長
5	1. 鋸南町消防団について 消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。 鋸南町消防団の団員の定数は、団本部、本部付女性団員、1分団、2分団、3分団、4分団の合計199人となっています。 しかし、令和7年度当初の消防団員数は、146人と各分団とも定数の団員数が確保できていません。 このような団員数の減少と団員構成の変化が、消防団の運営に影響を及ぼしており、適正な規模の活力ある消防団の確保をいかに図っていくかが、各地域・市町村の切実な課題となっています。 今後の団員の確保について、町の考えを伺います。	鈴木辰也	町 長

	2. 観光施策について 都市交流施設・道の駅保田小学校の来場者は、年々増加し、昨年度の来場者数が97万人を超えたとの報告がありました。今後、この来場者の皆さんに町内を回遊してもらうことが大変重要になってきます。 今年度は、道の駅きよなんの観光物産センター改修工事が計画されており、道の駅保田小学校、道の駅きよなん、佐久間ダム公園等、それぞれ核となる施設がありますが、町内をめぐってもらうための施策を町はどのように考えているのか伺います。 3. 老人福祉センターの運営について 今後の笑楽の湯の平日の営業時間延長について検討するために、令和7年1月から3月までの3か月間、試験的に平日利用時間を3時間延長しました。 試験期間終了後、検証をし、今後の時間延長のあり方を検討した結果、町の判断を伺います。		町 長
6	1. 地域医療について 鋸南病院は経営強化プラン策定から1年経過し、2025年5月1日からは、全病床を地域包括ケア病床へと変更しました。 町内の医療機関の今後について、町民の方々の不安は大きく、相談も増えています。 そこで、3点質問します。 ① 全病床を地域包括ケア病床とした経緯と現状はどうか。 ② 経営強化プランの進捗と達成状況はどうか。 ③ 今後の鋸南病院の運営について、町はどう考えているか。 2. 起業支援について 鋸南町総合計画の前期基本計画は今年度が最終	笹生あすか	町 長

	年度となります。町の課題として「地域経済基盤の確立」が挙げられ、基本目標にも「活気あふれる産業のまち」として様々な施策があります。 近隣市と比べて起業支援が不足しているため、拡充を求める声も届いています。 そこで、3点質問します。 ① 鋸南町の起業支援の現状と課題はどうか。 ② 他自治体の起業支援の現状を町はどう認識しているか。 ③ 町独自の起業支援が必要と考えるかどうか。		
--	--	--	--